

挨拶の布施行

川添裕資

皆様初めまして、今回から妙乃見山を書かせて頂きます。川添裕資と申します。以後宜しく御願致します。世界中の皆さんが朝起きて最初の言葉は、何と言つてもまず「おはよう御座います」。また感謝した時は、「有難う御座いました」等日常生活において挨拶は欠かせない言葉です。

皆様、驚かないで下さい。子供の頃の私は、人見知りの性格もあってか、周りの人に対して、当たり前の様に挨拶が出来ず、「ありがとう」「ごめんなさい」が言えない子供でした。その為、周りの人達から無愛想な人間だと思われたに違いありません。

中高生になると何とか挨拶が出来る様になるのですが、「おはよう」は「オッス」になり、「ごめんなさい」

は「さーせん」となっていました。今思うと全く基本的な挨拶が出来ない若者だと、自分自身を鼻で笑うしありません。

しかし、月日が経ち大学の頃でした。四年間の寮生活で先ず最初に教わった事は、相手の目を見て大きな声で挨拶を下さいでした。この強制的な指導のお陰で今では相手が誰であろうと正しく挨拶の出来る心を持つ事が出来ました。

仏典には「おはよう御座います」「有難う」の気持ちを行動で表す身近な実践として、『雑宝藏経』に「無財の七施」が説かれています。仏さまは財力や智恵が無くても七つの施しが出来るとお説きになられています。挨拶はその中の「言辞施」に当たります。心から優しい言葉をかける事で、相手と更には勇気づける事が出来るという、思いやりの

コロナ禍の中で、メルヤリモート会議など、コミュニケーションの手段も随分変わってきました。それでもハガキが届くのは嬉しいものです。たった一枚の中に相手の温もりが直接感じられます。

ハガキはどこへ出しても同一金額です。また遅れることなく着きます。

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

ます。でもまったく事情の異なる国もあります。私たちの当たり前がそうではない?!

私たちは当たり前の日々感謝すべきだと思います。仏さまの御守護も同様です。私たちがそれと気付かなくても、日々見守って下さっていることに感謝しましょう。

K.J

最高の布施行ですね。また、その布施行はそのまま、鏡の様に自分に跳ね返り自分の心を豊かにし、自身が菩提に近づく事にもなるのです。

「布施」というと、一般的にお金や財産等をより多く施す事が重要だと思われがちです。しかし一番大切な事は目に見えない心の施しです。それを日々の日常生活の中で皆様と共に実践していきたいと思えます。

ご祈禱・ご回向の開始時刻について

次の通りとなっております

ご祈禱 9時半・10時半・11時
12時・13時・14時・15時

ご回向 11時半・13時半

※ご了承協力お願いします
※開始時刻の30分前までに、受付窓口へお越し下さい
※ご参拝の際はなるべく事前のご連絡をお願いします
※郵便・FAX・メールでも受け付けております

法華経茶話Ⅱ

十二支縁起

激しい欲求(渴愛)が執着を生み、それが原因で思い通りにならないこと(苦)が生じます。この因果関係を知らずに欲望のままに生きることが根本的な無知(無明)です。そして苦は最終的に老・死という現実となって現れます。この無明から老・死に至るまでの因果関係を最も高度に理論化したものを「十二支縁起」といいます。

- ①無明 ②行(潜在的な意思による行い) ③識(対象を識別する作用) ④名色(心的活動の主観的・客観的側面) ⑤六処(感覚器官) ⑥触(対象との結びつき) ⑦受(触によって受けた作用) ⑧愛(感受したもののへの愛着) ⑨取(愛着したものへの執着) ⑩有(執着によって引き起こされる生存) ⑪生(新たにたたらされた生まれ) ⑫老死(生まれの帰結)です。